

**白河KIDS POWER文庫で小学生を応援
子どもたちの健全育成のために**

3月8日、信夫二小で「白河KIDS POWER文庫」の贈呈式が行われました。これは、白河建設親和会（永野文雄会長）が子どもたちの健全育成のために取り組んでいる「こども夢基金事業」の一環として行うもので、同会から市内の全15小学校に図書と本箱が贈られました。

本を読んだ1年生は、「動物の本がおもしろかった」「おもしろい本がたくさんあるので、もっと読みたい」など、明るい表情で感想を話していました。



▲読書を楽しむ児童たち

**第2回中山義秀記念作文コンクール表彰式
郷土の作家、中山義秀に続け！**

2月22日、中山義秀記念文学館（大信町屋）で「第2回中山義秀記念作文コンクール」の表彰式が行われました。このコンクールは、郷土の作家中山義秀を知り、創作の楽しさを知ってもらうためのものです。

3,366点の応募の中から、最優秀賞に小学生低学年の部で栗原美海さん（みさか小2年）、同中学年の部で森本菜穂さん（白一小4年）、同高学年の部で谷朋亮君（みさか小6年）、中学生の部で根本翼さん（白二中3年）が選ばれました。



▲表彰を受ける生徒

**白二小体育館が完成
新体育館に元気な声が響き渡る**

施設の老朽化への対応と耐震性確保のため、工事を進めていた白二小体育館が、3月15日に完成しました。

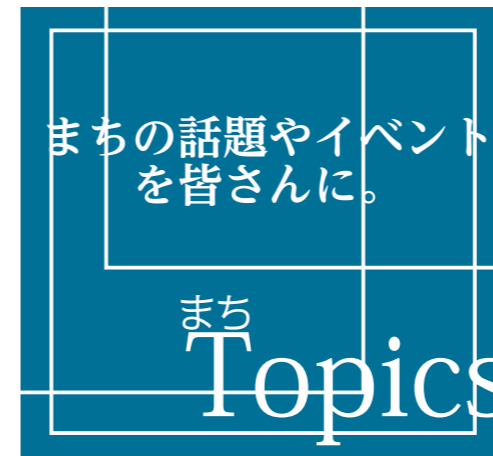
新しい体育館は、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）の平屋建て、延べ床面積は1,391㎡、アリーナ面積は990㎡で、改築前と比べ約1.6倍の広さです。

18日から新体育館で体育の授業が開始され、館内には児童たちの元気な声が響き渡っています。

今後、プールの建設工事を進め、今年度内にすべての工事が完了します。



▲3月19日には、鈴木市長が新体育館を見学しました



▲完成を祝いくす玉を割りました

**関辺幼稚園落成式
伸び伸び楽しく!! 待望の新園舎が完成**

関辺幼稚園の新園舎が完成し、3月4日、落成式が行われました。

同園は、東日本大震災で園舎が全壊したため、これまで隣接する関辺小の教室を借りて保育を行ってきました。

新園舎は木造平屋建て、敷地面積は2744.19㎡、延べ床面積は448.60㎡の広さで、遊戯室や年齢別の保育室などがあります。

落成式では、鈴木和夫市長が「新園舎で伸び伸びと楽しく過ごしてほしい」とあいさつし、鈴木市長、高橋光雄市議会議員、園児代表がくす玉を割り、新園舎の完成を祝いました。式の後、3歳児のクラスでは、早速かるた取りをするなど、新園舎で楽しむ園児の笑顔が見られました。



▲新しい保育室でかるた取り

**太陽光発電事業の実施に関する協定締結式
地域と連携し太陽光発電事業を推進**

3月21日、市と白河地域再生可能エネルギー推進協議会（鈴木俊雄会長）が、「太陽光発電事業の実施に関する協定」を締結しました。市と同協議会では、連携して「小さな発電所」の設置を推進することで、エネルギー資源を活用して地域の活性化を図ります。

その第一弾として、市は所有地である旧東中跡地（東釜子）を同協議会に貸与。発電事業者を公募し、マッチング手法によるオーナー制太陽光発電事業を展開していきます。



▲鈴木市長と同協議会の皆さん